

来

II

美しき
心をよ



II. CAPTIVATED BY GOLD

2018.4/28^[土] - 6/24^[日]

金に
せて

去

休館日 | 月曜日
(祝日の場合は翌火曜日。
ただし5月1日は開館)
開館時間 | 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 | 一般 900 (700)円
 高大生 500 (350)円
 小中生 200 (100)円
 ※()内は前売り(一般のみ)・
 20名以上の団体料金
主催 | 公益財団法人香雪美術館、
朝日新聞社、朝日放送テレビ



中之島香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

中之島香雪美術館
開館記念展
「珠玉の村山コレクション」を愛し、守り、伝えた
II

景德鎮窯《赤絵唐人図圓鉢 銘 大マレモノ》/《蓮池詩絵経箱》/《花鬼詩絵面中次》/《菊水詩絵硯箱》 背景：長谷川等伯《柳橋水車図屏風》重要美術品/《普賢菩薩十羅刹女像》



長谷川等伯《柳橋水車図屏風》桃山～江戸時代、16～17世紀 重要美術品



《阿弥陀三尊像》鎌倉時代、14世紀



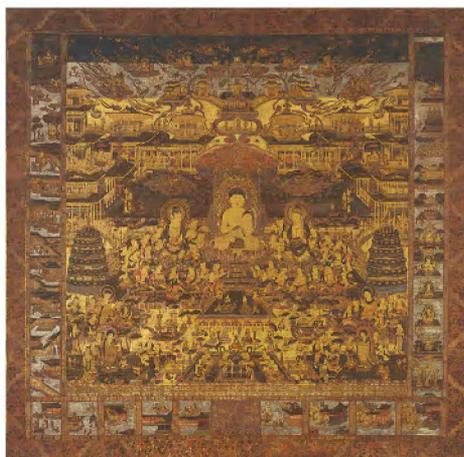
「金」といふかがやきの素材は、時を経て変質せず、美術を形成するあらゆる材料の中でもとりわけ貴重視されました。その荘厳さ、豪華さ、神秘性という特質は、永く人々の心を魅了しつづけてきました。村山龍平もそれに連なる一人です。記録から伝わる村山の人の心となりは、「華美」という言葉の対極をいくもの。村山コレクションの「美しき金」にいろいろとられた作品も、それを体現するかのようには、どちらかというど慎ましく清らかなかがやきを発するものばかりです。中でも京都・宇治の光景に題材を採った《柳橋水車図屏風》は、本展の柱となる作品です。村山が心をよせた日本美術の「美しき金」の世界を、祈りと憧憬、装飾への愛着を軸にたどってみます。



日本蒔絵合資会社
《浪草花蒔絵文台・料紙箱・硯箱》
明治29年(1896)



《当麻曼荼羅》鎌倉時代、13世紀



中之島香雪美術館開館記念 連続講演会



第3回 | 2018年5月12日[土] 13:30～15:00 (13:00 受付開始)

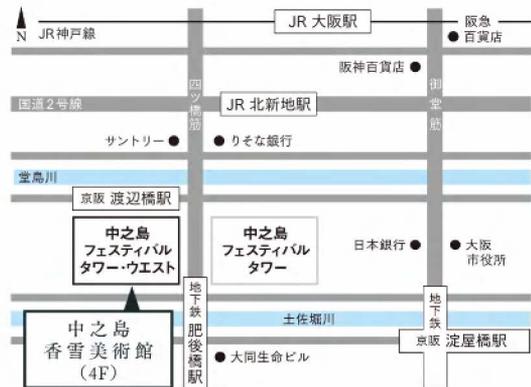
泉武夫氏(東北大学名誉教授・日本仏教絵画史)
講演会「私の金のかざり 一来迎図とその周辺」
[参加料] 1300円(美術館入館料含む)
応募は「泉武夫講演会」係。締切り4月21日



第4回 | 2018年5月29日[火]

フェスティバルホール緞帳(柳橋水車図屏風)と
原画(香雪美術館蔵・長谷川等伯)特別見学会と
泉万里氏(美術史家・大和文華館 学芸部長)
講演会「柳橋水車図屏風の魅力 桃山百双の幻影」

①緞帳見学(場所:フェスティバルホール) 11:00～11:30 (10:30 受付開始)
②講演会 13:30～15:00 (13:00 受付開始)
[参加料] 1500円(美術館入館料含む・柳橋水車図屏風オリジナル絵はがき付)
応募は「緞帳見学と泉万里講演会」係。締切り5月8日



〈アクセス〉

- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅、京阪中之島線「渡辺橋」駅直結
- JR「大阪」駅接橋口より徒歩11分
- 地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅より徒歩6分
- JR東西線「北新地」駅より徒歩8分

中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

【会場】中之島会館(大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階、中之島香雪美術館隣)
【応募方法】●往復のガキ(1枚で2名様まで応募可能)に、希望する講演名、参加希望人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送で応募ください。応募者多数の場合は抽選となります。当選者には、返信はがきで参加証を郵送します。●宛先 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階「中之島香雪美術館開館記念」
○講演会係へ ●締切:第3回=4月21日、第4回=5月8日消印有効 ●美術館は午前10時開館です。講演前の観覧も可能です。

【次回展】Ⅲ. 茶の道にみちびかれ 2018年7月7日[土]～9月2日[日]

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4F TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 <http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/>